

ピアノ室、スタジオも 最高のコンディションが保てる



吹き抜けやワンルーム空間は 床暖房の独壇場

建築家 永松賢一

住まいのなかには、家族の「核」ともなるべきものがあつたといわれます。建築のレベルで考えますと、それは大黒柱であつたり、家をゆつたりと包み込む大屋根であつたり、暖炉や囲炉裏であつたりします。また、庭の大きな樹木であることもあります。

そのような「核」となりうる空間の一つとして「吹き抜け」を考えることができます。

1 「吹き抜け」という言葉

岩波の『広辞苑』によると、

ふきぬき へ吹貫・吹抜 ①風が吹きとおること。また、その所。ふきとおし。②「ふきながし」の一種で全円の枠をつけたもの。

③肌着を着ずに、ただ一枚の着物を着ること。④家屋の柱間に壁・建具がなく、外部に向かって開放されていること。⑤家屋の内部で、天井、床を設けず数階を貫通した構造。ふきぬけ。吹抜し。

となつています。

寝殿造りや庭園のあづまやなどは、④⑤の意味での水平方向にひろがついていく吹き抜き

の空間といえます。外部と内部の境界が曖昧な伝統的な日本の空間の特質です。

さて、ここでいう「吹き抜け」とは、④⑤を指しているわけですが、これは比較的新しい語の用法なのでしょう。



伝統的な日本の空間
(京都の大覚寺／写真はすべて筆者)

そして、それはその構造上、縦方向に広がっていき空間になりま

2 日本の民家

日本でも水平方向の吹き抜きでなく縦方向の吹き抜け空間は、例えば民家の土間などにその例を見ることが出来ます。黒光りした太

い梁が縦横に走る力強い光景は、どなたでも想いおこすことができるでしょう。囲炉裏からの煙はこの高い天井をたのぼり、他の部屋にまわることはありません。いわば煙突の役目を果たしているのです。大きな屋根にかこわれた、薄暗い吹き抜けが伝統的な民家の特徴の一つともいえます。



黒光りする構造材を
みせた囲炉裏のある
吹き抜け
(金沢の喜多家)

3 吹き抜けの特性

現代の住宅における吹き抜けを考える時、吹き抜けには次の三つの大きな特性があると考えられます。

イ、上方への指向が顕著である。

ロ、空間に動的特性を与える。

ハ、空間と空間を相互に結びつけ、有機的な構成をとることができる。

それぞれの特性を詳しく考えてみましょう。

イ、上方への指向を強くするものは、

光です。ゴシックの教会などをみても遙かなる高みのステンドグラスから差し込む多彩な光はまさに天上のものです。この光があるからこそ人々は祈つたのでしょう。

また前述のように「床」が無いということが必然的に垂直方向の広がりをうながします。このように、高い天井の上方から降りそそぐ光が吹き抜けの原イメージの一つであるといえます。また、高い窓からうかがわれる雲や空、星、木の梢なども視覚的に、十分に心を奪われるものといえます。

光の支配する空間は、まさに昼間の空間です。夜の照明をいかに効果的に扱っても、自然の光の多様さにはかないません。

初夏の新緑の木漏れ日、夏のまばゆい程の強い日差し、冬の小春日和の温かさ、また朝



空間と空間を結びつ
ける吹き抜け
(明治村の東松家)



右からスタンドグラスが美しい吹き抜け
(パリのサンシャベル教会)
吹き抜けの大階段
(ウィーンのベルベデール宮殿)
トップライトから採光した吹き抜けの大空間
(フィンランドのユバキュラ教育大学)

の清々しい光、黄金色の夕焼け、凜とした月光など枚挙にいとまがありません。このような光の恩恵を十分に受けとめる空間装置こそ、「吹き抜け」であるといえます。

ロ、バロックの邸館では、動線の裏方的存在であった階段を一つの重要な空間として取り扱い、大広間に動きを与える重要な装置という役割を与えています。教会堂においても単に高い天井というだけでなく、二階にギャラリーが設けられるという関係を生み出しましたが、吹き抜けの大階段はさらにそれに加えて、人を動くエレメントとしてとらえるという、新しい視点を提出しています。現代の住宅の吹き抜けで最も多く見られるのが、このような階段や廊下などのサーキュレーション装置をからませる手法です。

視覚的に家庭の行動が把握しやすく、他の自然要素である光・風・音・色などをも総合的にとらえやすい空間として考えることができます。

ハ、これが住居における吹き抜けの最も重要な点ですが、イとロを、十分に考慮に入れて最良に計画された吹き抜けは、住居を一つの有機的な統合体としてまとめる「核」の役割を果たします。吹き抜け空間に、他の全ての部屋が巧妙につながっている構造の時に最

もその効果を発揮しますが、こうした空間は、親密な共同体をなしている家族にふさわしいものといえるのではないのでしょうか。ここで十分に考慮されなければならないことは、個人的な領域（個室や寝室に代表される）と家族的領域（居間や食堂、遊び部屋等に代表される）の序列づけと関係が保たれます。住宅では、玄関↓（応接室）↓居間・食堂↓個室、寝室といったように、プライベートの順位づけを行っているのが一般的です。この順位づけと、サーキュレーション空間の統合が吹き抜けを介して十分に計画されなければなりません。

4 「吹き抜け」の問題点

以上、吹き抜けの特徴や利点をあげてきましたが、現実には吹き抜けを設ける時には解決しなければならない様々な問題点があります。これについて少し触れておく必要があるでしょう。

イ、暖・冷房について

誰でも知っているように、空気は、対流の原理として暖気は上方へ、冷気は下方へと流れます。従って吹き抜けのように縦に広がる空間では、下方の人間の居住する場所の暖房効果が薄いという大きな問題が起ります。しかも吹き抜けはほとんどの場合、一般の部屋に比して気積が大きく、また、完全に閉鎖することのできない場合も多いからです。当然のことながら対流による暖房は適しません。これを解決する方法はただ一つ——床暖房（フロアヒートイング）による他はありません。上から下に吹き出す温風方式や、天井にサーキュレーターを取り付けたりする方法もありますが、根本的な解決方法とはいえないでしょう。

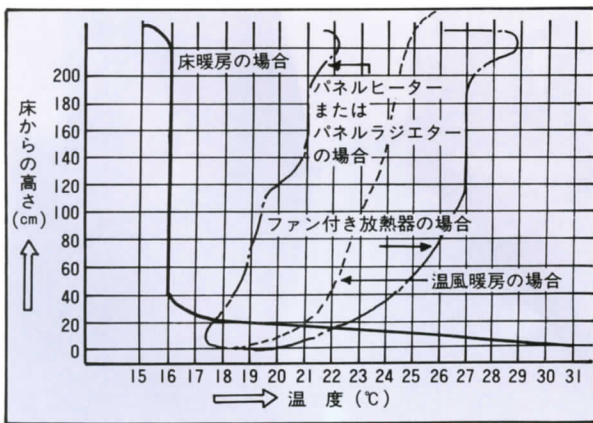
温風吹き出し暖房は、送風機によって強制対流を起こし、室内の空気を暖める方式です。室温を22度C前後に設定しますからどうしてもムウツとした感じになりがちです。室温が

高いと空気を乾燥させますから、喉を痛める原因となることも少なくありません。一方、床面を暖めて輻射熱と伝導熱によって暖房するフロアヒートイングは、頭寒足熱の理想的な温度分布を実現します。

人間の手の足の裏には温点というものがあリ、これが温かさを感じると間脳に刺激を与え、全身に温かさを放射します。寒い時に手をこすったり、火にかざしたりすることからもよくわかります。

床暖房では、人間の居住する床面を30度C前後に暖めます。室温は16度C前後になるのが最適です。室温があまり高くないので、戸外への出入りに際しても急激な温度変化にさらされず、また必要以上に身体を暖めませんから、人間の温度適応力を鈍化させることも少ないでしょう。空気が乾燥しないということとで人間の健康や、室内の建材、家具、ピアノなどの楽器類に良い影響を与えます。

温風暖房と床暖房の高さ方向の温度分布を比較したものが左図です。人間の居住する部分が理想的な状態になっていることがわかります。まさに「吹き抜け」にうってつけの暖房方式といえます。熱源としては、電



気のヒーターを用いるものと、温水を循環させるものと大きく二つの方式があります。床暖房をする範囲（理想的には全館が望ましい）や使用頻度、保守管理のしやすさ、イニシャルコストとランニングコストなど様々な観点から検討して決めるのがよいでしょう。

一方、夏の暑さに対しては、天井が高く、開放性の比較的高い吹き抜けは有利に働きます。風の流れをうまく計算すれば、冷房の必要が無いこともありえます。ただし、天井の近くに通気口を設けておかないと、熱気が上方に溜まり、上階の居室に悪影響を与えます。

ロ、光のコントロールについて

光の演出は、吹き抜けにとって欠くことのできないものです。ブラインド、カーテン、ルーバー、その他、日差しをコントロールする装置は当然考えなければなりません。しかし手の届かない高い所は、電動式や機械式のものを採用しなければいけないこともあります。特にトップライト等では、なおさらです。窓の開閉についても同様なことがいえます。

ハ、管理上の諸問題

手が届かない高い所は、掃除もしにくいわけですから、特に汚れの目立つガラスの清掃には十分な配慮が必要です。また高い所の照明器具も同様ですし、電球の交換にも十分配慮しなければなりません。高所での安定しい足場での作業は危険です。せいぜい脚立一つでの作業か、さもなければしっかりと足場を作っておくかの工夫が望まれます。

ニ、吹き抜けの工費

吹き抜けは床がありませんから、坪数計算には入りません。ところが壁は床がある時と同じ分ありますし、工事上の足場も余分に必要なので、目に見えない費用がかかります。吹き抜け工事には坪数計算に入れて予算を組んでおかないと、とんだ目論見違いになる時があります。床さえつくれば部屋になってしまうのですから。

(遊建築設計事務所 所長)

「素足になると指先まで暖まる」ピアノ教室の床暖

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

青森/福井さんの住まい



①外観。左側の建物が福井邸で、コースペスの奥がピアノ教室になっています



- ②広いピアノ教室の反対側は、時には生徒さんの待合室にもなる床暖房の居間
床・フローリング
- ③床暖房したピアノ教室。ピアノの荷重に耐えるよう、頑丈な板張りに仕上げられています
床・フローリング

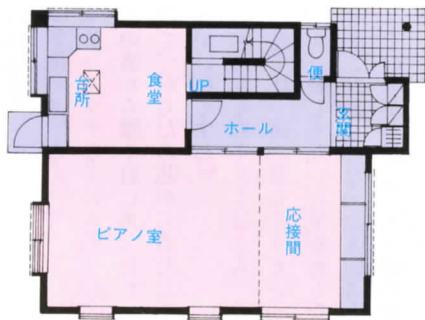


④優しいピアノの先生、福井公子さん

ピアノの重量と暖房効果を考えて板張りの床を採用

自宅でピアノを教える福井さんは、ピアノ教室を広く、明るく、そして暖かい雰囲気にしたと日頃から考えていたそう。新築にあたっては、プランの中心になったのはピアノ教室で、その暖房方法も①機器が露出せず室内がすっきり仕上げられること、②より経済的で効果的な暖房ができること、の二つの理由から、床暖房を採り入れることに決めたといいます。床の仕上げは、ピアノの重量と床暖房効果を考え合わせて板張りにしましたが、この感触のよさは、福井さんにも生徒さんにも好評です。練習前には素足になって足から身体全体を暖め、指がかじかんだりしないように備えておくという生徒さんもうらっしゃるとか。

もう一部屋、食堂・台所にも床暖房が施されています。仕上げは、油污れなども掃除しやすいよう、塩ビ系のクッションフロアが使われていますが、長時間立っただけでも暖かく、疲れなため、快適に作業ができるそうです。



家族構成／主人
 構造／木造2階建て
 床面積／123.79㎡ (37.51坪)
 1階／60.03㎡ (18.19坪)
 2階／63.76㎡ (19.32坪)
 床暖房／ピアノ教室、食堂・台所
 給湯／5か所
 設計・施工／太平住宅・八戸営業
 所 (☎0178 八戸24-3356)
 床暖房施工／遠藤商店
 (☎0178 八戸28-7122)
 竣工年月／58年9月
 カメラ／齋部 功



⑤床暖房の食堂・台所
 床・長尺塩ビシート

「ストーブではだめ。吹き抜けの居間はやはり床暖房ですよ」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

北海道／木村さんの住まい

足元から暖まる床暖房は
年寄りにはとてもいい

「足元からポカポカと暖かくなるので、床暖房は年寄りにはとてもいいですね」

たった一人で暮らす木村さんは、厳しい寒さの冬も苦にならぬ様子で語ってくれました。

一台のボイラーで床暖房、給湯ができる設備を入れたのは約3年前ですが、それ以前はバルカンをたいていたそうです。

そのバルカン暖房は、部屋の隅から温風が出てくる仕組みですが、12畳の居間は吹き抜けになっているのでほとんど効き目がなかったそうです。

「暖かい風はみんな2階にあがってしまった、むしろ2階が暖かいのにはスウスイ。寒くてゾクゾクしながら生活していました。カー

テンを厚手のものに取り換えたり、部屋に仕切りを設けたりしましたがストーブはやはりダメでした」
ところが床暖房を入れた現在は、吹き抜けの12畳の居間も寒さ知らずで、大変暮らしやすくなったとのこと。

床暖房と気泡バス—— 身体の芯から暖まります

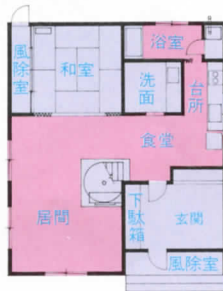
木村さんが一番気に入っているのは浴室です。

「以前の風呂場はまるで冷蔵庫みたいでした。サイダーとかビール、おいもなどを風呂場に置いて本当に冷蔵庫代わりに使っていたんですよ。だから冬はいつも、すぐ隣の息子夫婦の家にお風呂を借りに行っていました」
木村さんの風呂は、このボイラーで沸かし

「お湯が出てくるばかりでなく、循環パイプに発泡装置が取り付けられている、心地よい「気泡バス」なのです。」
「リュウマチなどにも効くのではないかしら。足の裏から腰や肩にあつたかお湯がかかるので、からだの芯からあたたまって本当に気分がいいですね」
木村さんの子どもは5人。孫は14人。隣の息子は一緒に暮らそうといってくれたのですが、むしろ互いに気がねしない暮らしをのぞんでひとりになったとのこと。
「その方が子ども5人と孫の全員(14人)が気楽に来てくれると思ったんです。孫たちは、夏休みなど合宿だといってきてくれるんですよ」——木村さんの人柄そのものも、おおらかで明るく、暖かい住まいです。

①床暖房だから北国でも可能な吹き抜けの居間 床・フローリング

②北海道の冬は、吹き抜け空間を冷蔵庫にしていますが、床暖房でやっと暖かくなりました。「床暖は年寄りにいい」と木村さん



家族構成／主人
地域指定／準工業地域
建ぺい率／60%
容積率／200%
構造／木造2階建て
敷地面積／396㎡(120坪)
床面積／116㎡(35.15坪)
1階／73㎡(22.12坪)
2階／43㎡(13.03坪)
床暖房／居間、台所、食堂、浴室
給湯／3か所
設計・施工／大都工藤建設(工藤紀行)
☎011札幌721-6736
床暖房施工／ササヤ商会
竣工年月／49年9月
カメラ／佐藤成範

③外観。モダンな洋風で2つのドーマーがアクセント



「20畳の大空間の暖房は床暖房に限ります」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

北海道 / 木戸さんの住まい



①外観。真ん中のアルコーブの正面が玄関、というつくりです

②床暖房の居間と和室。ピアノの練習や家族のくつろぎにこの家で一番活用されるスペースなので、床暖房をしたことは効を奏しました
床・カーペット、タタミ

③床暖房の和室
床・タタミ

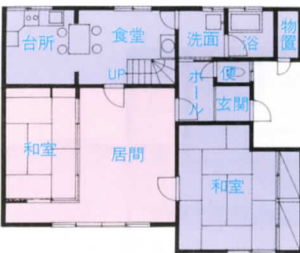
セントラルヒーティングを 床暖房に切り換え 燃費を節約

木戸さんは8年前にこの家を新築しました。ひと部屋ずつを大きくつくったため、特に暖房効果を考え、当時流行していたセントラルヒーティングを採用し、全室暖房ができるようにしたそうです。しかし実際に使ってみると、燃費がかなりかかることに、椅子式でなく床に座る暮らし方をすることに、室内の上方ばかり暖まって肝心な下方が寒いことなど、木戸邸には適さない点が目立ちはじめました。5年目にして販売店の推薦もあり、暖房と給湯ができる温水式の床暖房システムに変更することに決めました。

家族が一緒に過ごす時間の長い居間は、普段は障子をとりはずし、和室も一体にして使っているため、20畳程の大空間になります。こ



の居間と和室に施した床暖房は、部屋全体が均質に足元から暖まり、その効果は以前の暖房と比べると雲泥の差があるといえます。他室にも、この温水を利用した、温風ファンヒーターを使っていますが、11月から4月半ばまでの使用期間中、夜中つけっぱなしにしても消費燃料は一か月400円を切るくらい。「や」と木戸さんは、床暖房とこの家の相性の良さを喜んでいます。



家族構成 / 夫婦(主人40歳) + 子供
3人(男10歳、女8歳、6歳)
床暖房 / 居間、和室
給湯 / 3か所
床暖房施工 / 山一住器
(☎0138)函館41-0285
カメラ / 永田史明

「広いワンルームのLDKには床暖房がうってつけですね」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

青森／中村さんの住まい

足元から暖まる良さが
一家に大好評

落ち着いたデザインのと風住宅を新築された中村さん。暖房設備は一台のボイラーで給湯も同時に行える床暖房システムを採用しました。設置したのは1階の玄関、廊下、広縁、洗面所を除く全居室です。

「採用したのは、知人の中に床暖房を使っている人が何人かいて、足元から暖まることの良さをいろいろと聞いていたからです。この家の計画中に床暖房を知って迷わずこれに決めました」と中村さんはおっしゃいます。特に床暖房が効果的なのは、ワンルーム形式にまとめられたLDKのようです。寒さの

厳しい冬など個別暖房だと台所の足元、食堂、居間とそれぞれの部分に必要となるとところですが、床暖房なら一か所の操作で全体がホカホカと暖まってくるのですから。

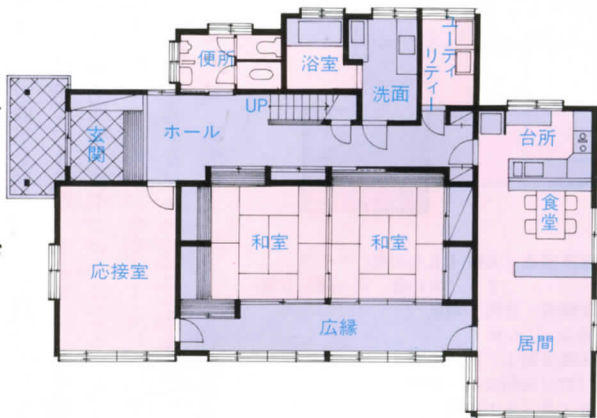
また、図面からもわかるとおり、洗面脱衣室には床暖房工事をしていませんが、床暖房のある浴室とユーティリティーには含まれていないせいか、暖房中にはそこまで温もつてくるとか。とにかく「1階には他の暖房機が1台もないのにどこも暖かくて大満足」(ご主人)なのだそうです。

中村邸にはこのボイラーによる給湯個所が5か所にあります。いつでも豊富なお湯が使える、お風呂好きな一家に大好評ということです。



家族構成／夫婦(主人56歳)＋子供2人
構造／木造2階建て
床暖房／居間、食堂、台所、和室(2)、応接室、浴室、便所、ユーティリティー
給湯／5か所
設計・施工／東邦建設(☎0178八戸45-4405)
床暖房施工／田中住設センター(☎0178八戸44-2335)
竣工年月／61年2月
カメラ／齋部 功

①モダンな意匠を控え目に取り入れた和風の外観

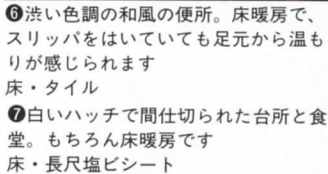




④床暖房した居間。食堂とひと続きになった家族の団らんの場です
床・じゅうたん



⑤床暖房で快適になった浴室と脱衣室の角に設置されたボイラー
床・タイル、長尺塩ビシート



⑥洗い色調の和風の便所。床暖房で、スリッパをはいていても足元から温もりが感じられます
床・タイル

⑦白いハッチで間仕切られた台所と食堂。もちろん床暖房です
床・長尺塩ビシート



②2間続きの和室は襖を開け放つと16畳の大広間となり様々な来客に幅広く対応できます。純和風だからこそ器具の露出しない床暖房がぴったりです
床・タタミ



③仕事上の来客が多い応接間にも床暖房を採用。ご主人が仕事で長時間こもる場合がありますが、他の暖房機と違い、頭がぼーっとすることもなく好評です
床・じゅうたん

板張り床のワンルームに ふさわしい床暖房

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

千葉 / 五十嵐さんの住まい



②床暖房の食堂から台所をみる 床・フローリング

③床暖房の和室。白い床柱がアクセント 床・タタミ



①庭木が映えるどっしりした外観



「これなら間違いない」と 温水式床暖房を採用

「床を板張りにしたい」——家を新築するに当たって、これが五十嵐さんの第一の希望でした。そして、暖房は床暖房と決めていたのです。そこで、板張りに合うパネルを探し回ったとのこと。

「当初調べたかぎりでは、温水式ではどこにもなかったんですよ。建設会社からは、コルクタイルにすれば床暖房でもよいといわれました。でも私は、どうしても床を板張りにし

たかったんです」

板張りに合う床暖房がなければ、床暖房そのものをあきらめなければならぬか、とまどったそうです。

「ところが、やっと広告でこの給湯を兼ねた温水式の床暖房システムを発見したんです」と、五十嵐さんは喜びを語ります。

「これならば大丈夫」と早速、施工の現場を見にいきました。むろん実際に使っている人の話も聞いたそうです。

「板が反らない」「ヒズミもない」
これなら間違いないと、採用を決定したといえます。

「足元から暖かく、ほんのりとした暖かさがいいですね。お風呂のお湯が冷めなくて、いつでも入れるところもいんです。それに広いワンルームには最高」と五十嵐さんは、床暖房のすばらしさを体験者の立場から強調されていました。



④板張りの居間から食堂をみる 両室とも床暖房
床・フローリング

⑥床暖房で暖かい洗面所と浴室
床・フローリング、タイル

床暖房/居間、食堂、台所、和室、浴室、洗面所
給湯/4か所
設計・施工/大成建設(03東京567-1551)
床暖房施工/富士プラント・アルコ(☎03東京348-3801)
カメラ/島崎 徹



⑦床暖房の台所にはシステムキッチンが採用されました
床・フローリング



「こんないいものなら 知り合いに是非紹介したい」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

新潟／広瀬さんの住まい

③ ついつい鼻歌も出る
暖かな浴室
床・タイル



② 洋室と和室をひと続きにした居間。和室にも床暖房を入れました
床・フローリング、タタミ

① 日本瓦、木材、石材を使い、堂々と仕上げた入母屋の外観



広瀬さんは朝鮮の「オンドル」をよく知っ

オンドルを知っているので
すぐよさを理解しました

家族構成／夫婦(主人61歳)＋
長男夫婦＋孫1人
(女13歳)
構造／木造2階建て
床面積／327.56㎡(99.26坪)
1階／255.83㎡(77.52坪)
2階／71.73㎡(21.74坪)
床暖房／1階＝居間、食堂、台
所、寝室、洗面・脱衣
室、浴室 2階＝居間、
寝室、子供室
給湯／8か所
設計・施工／北工務店(02592
両津7-2381)
床暖房施工／バスラー新潟(02
52新潟80-6199)
カメラ／宮下信治

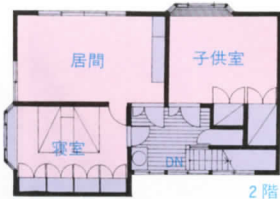


⑤ 足元が暖かくて調理作業も苦にならない台所
床・フローリング



④ 豪華な洗面設備にふさわしく床暖房を入れた洗面脱衣
室 床・フローリング

ているので、床暖房施工会社から「床暖房を
お付けになりませんか」といわれた時、「確
かに、ああいう方式は快適なんだよな」とす
ぐ乗り気になりました。給湯兼用の床暖房シ
ステムについてくわしく聞いてみると、一台



2階



1階

感想は、「快適、の一言に尽きる」とのこと。このお宅は、広瀬さんが事業をしているため、ひんぱんに人が出入りします。従って玄関などの開閉回数も多く、そのたびに屋内に冷気が入るのですが、足元が暖かいと寒く感じません。部屋を密閉して始めて効果の出るストーブとは、大きな違いです。また「私は気まぐれで、あらかじめ入浴時間を決めておくのはイヤ。入りたい時に、すぐ入れるのがよい」という広瀬さんにとっては、常に風呂が沸いているのもうれしい点。もちろんほかの家族も「手はかからないし、最高」と絶賛しており、知り合いにもぜひ紹介したいそうです。

足元が暖かいと、冷気が
入っても寒くありません

のボイラーで暖房と給湯ができ、風呂も沸かせるので、ますます気に入ったとのこと。
ただ、小さなボイラーで40坪余りの面積を暖房し、8か所も給湯できるということについては、半信半疑でした。計画中も、施工を始めてからも「本当に大丈夫か」と繰り返したずねたそうです。

コンクリートにじゅうたん直貼りの冷え込みを床暖で一掃

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

「健康な住まいと暮らし」を実現する
床暖房派が急増中

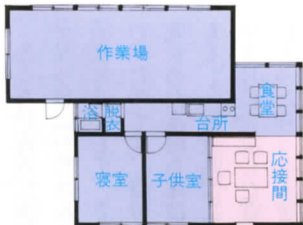
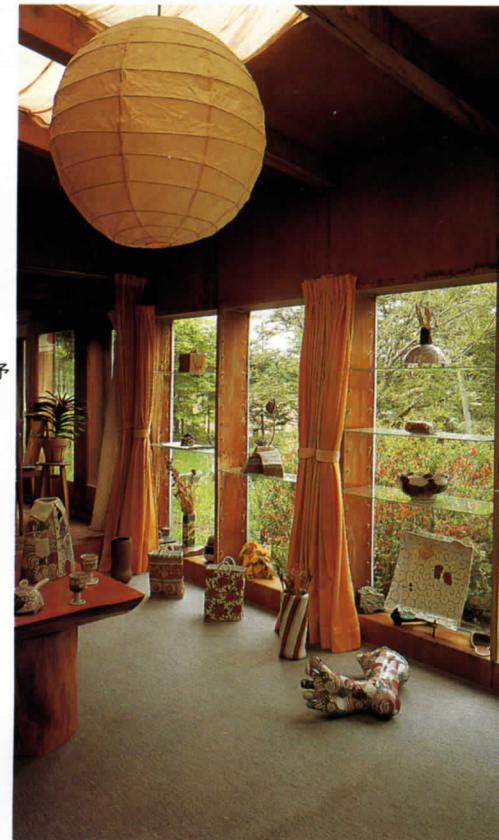
山梨 / 松田さんの住まい

① 雄大な緑をバックにファンタジックな作品が飾られた床暖房の応接間。自然環境を考えると、確かに真冬は寒そうな感じ。それが今ではとても暖かいということです
床・じゅうたん



② 応接間から食堂を見たところ。将来はここにも床暖房を入れる予定です

③ 作品が緑の間にごく自然に飾られ、温かみを感じさせるユニークな外観



家族構成 / 夫婦(主人40歳) + 子供1人
構造 / 木造平屋建て
床暖房 / 応接間
給湯 / 3か所
床暖房施工 / 富士プラント・アルコ
(☎0555河口湖73-1511)
カメラ / 佐藤成範

今では真冬でも足元が暖かいためフルに応接間を利用しています。予算の関係で今回の工事ではこの応接間のみ床暖房を設置しましたが、すっかり味をしめた松田さんは、いつかは他の部屋全体にも床暖房を使いたい、と意気込んでおられます。

それにしても暖かい部屋に居ながらにして冬枯れの木立ちや雪景色が見られるとはうらやましい限りの松田邸です。

使い心地の良さに魅了され、
全居室に床暖房設置を予定

「広いスタジオの暖房はぜひ床暖房にしたい」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

山梨/富塚さんの住まい



外観。トリコロールカラーが愛らしい洋風住宅です



和室には床暖房と共に、床暖房コタツも設置されていて、冬でもお客さんを安心して泊られます
床・タタミ

小窓から山の緑が眺められる快適な浴室と床暖房の洗面脱衣室
床・長尺塩ビシート



子供から目を離しても 床暖房なら安心

本立の中にひとときわ映える、赤い屋根と白いバルコニーが印象的な洋風住宅——これが富塚さんの新居です。この住まいは写真家であるご主人のスタジオと、奥さんが経営するブティックが一緒になった店舗併用住宅でもあります。

ご主人は「広いスタジオの暖房はぜひ床暖房にしたい」と、最初は電気式の床暖房を思い描いていたそうです。近くのペンションがそれを利用していいというので様子を伺いに行ったところ、「ランニングコストが高すぎる」と聞いて半ばあきらめていました。

ところが書店で偶然にも床暖房の特集記事を見つけ（ハウス&ホーム）、その安全性や経済性に感心して、さっそくメーカーに問い合わせたのです。自分自身の目で見て、実際に確かめた富塚さんは「これならわが家でも使える」と新築計画に加えることにしました。今年5月に完成した富塚邸では、冷え込みの厳しかった日々を床暖房で快適に過ごしました。「家の中に危険な場所がないからちよつと子供から目を離しても安心でしょう。2人とも仕事を持っているから、それがとても助かります。暖かさは思っていた以上に心地良いものですね。僕はお客さんが来ると、春の今でも、思わず自慢しちゃうんです。家は床暖房なんですよって……」とはご主人の感想談です。

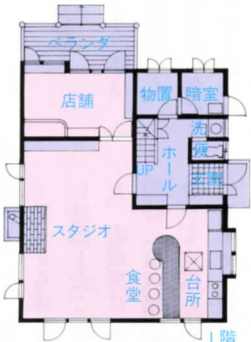


床暖房の居間兼スタジオ。ご主人の仕事場になったり、お子さんの運動場になったりするオールマイティーな部屋です
床・フローリング

床暖房の寝室。就寝前からスイッチを入れておくと、何やらベッドまで暖まってくるよう。寒い朝も無理なく起きられます
床・じゅうたん



富塚さんご夫妻



家族構成／夫婦(主人36歳)+子供1人

構造／木造2階建て

床面積／131.58㎡(39.87坪)

1階／81.90㎡(24.82坪)

2階／49.68㎡(15.05坪)

床暖房／居間(兼スタジオ)、和室、寝室、洗面脱衣室、便所、店舗

給湯／4か所

設計／オオモリ建築設計事務所(☎0555富士吉田22-6208)

施工／渡辺建設(☎0555山中湖62-3982)

床暖房施工／大清水道(☎0555山中湖62-0451)

竣工年月／61年5月

カメラ／佐藤成範



「床暖房のおかげで頭痛のタネだった ストーブ時代に別れが告げられました」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

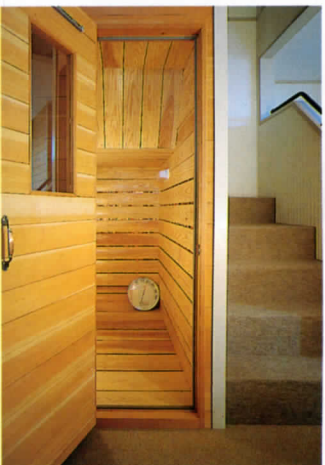
“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

香川／井戸さんの住まい



②床暖房の設置でストーブが不要になりすっきりした居間。正面の引き戸が和室(6畳)に通じています
床・じゅうたん

③階段脇に新たにつくられた“温水式のサウナ”は家族全員のリフレッシュ空間になりました



①総2階建てのシンプルな外観



物入れを改造して “温水式のサウナ”を設置

ベージュのシックな外観を持つ井戸邸は、通風を考慮した設計のため夏は大変涼しく、クーラーが不要の快適さです。ところが冬になると寒さがきびしく、特にワンルームになった食堂と居間にそれぞれストーブを置かなければならないのが頭痛のタネでした。もっと効率的で安全な暖房はないものかと、ご主人は機会あるごとに人に尋ねて回っていました。ある時、取り引き先の人から床暖房の話聞き(その人が自宅の台所に利用してい

たため、即、体験させてもらったのです。足元から体全体が暖まってくるその温もりに感激したご主人は、迷わず工事を頼みました。床暖房にしたのは問題の食堂と居間です。同時に階段脇の物入れを改造して温水式のサウナも設置しました。

工事終了後の第一日目、販売店に奥さんからの電話が入りました。「とっても暖かいのヨ。今まで使っていたストーブがいらないなんて夢のよう！」というのです。今では低温でじっくり汗のかける温水式のサウナと床暖房のおかげで、以前のような不平不満のない快適な冬を送っているそうです。

家族構成／夫婦(主人38歳)＋子供1人(女12歳)
構造／鉄骨造2階建て
床面積／109.10㎡(33.06坪)
1階／54.55㎡(16.53坪)
2階／54.55㎡(16.53坪)
床暖房／居間、食堂、温水式のサウナ
設計・施工／クボタハウス
(☎06大阪244-1531)
床暖房施工／尾原商店
(☎0878高松98-5616)
竣工年月／59年10月
カメラ／大島勝寛



④アプローチ。洒落た玄関灯がアクセントになっています

「吹き抜け空間には床暖房しかない 建築家ともども決めました」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

「健康な住まいと暮らし」を実現する
床暖房派が急増中

福岡／峰尾さんの住まい

床暖房の居間。大きな吹き抜け空間を持つ、すっきりとまとまった居間です
床・コルクタイル

床暖房の洗面所と便所。便所の床まで床暖房をするのは珍しいのですが、たいへん快適とのこと
床・コルクタイル



**床暖房は安全で健康的だと
おばあちゃんは
宣伝して歩いています**

峰尾さん宅は、ご夫婦に子供さん三人とおばあちゃんの六人家族で、ご主人はN新聞社の管理職です。

新築にさいしてご主人は、建築家の方と冷暖房機器についていろいろ検討されましたが、居間を大きな吹き抜け空間にしたので、通常のエアコンでは効果は望めないということで、床暖房に決めました。が、もう一人、床暖房

の「推進者」がいました。実はおばあちゃんなのです。以前中国に居たことがあり、床暖房と同じような暖房形式のオンドルの快適さを知っていたからです。

一夜の遅いご主人は、まず、この居間で一度「仮眠」をして寝室に行かれるそうですが、毛布一枚で、すぐに熟睡することができると、床暖房の効能を語っておられます。

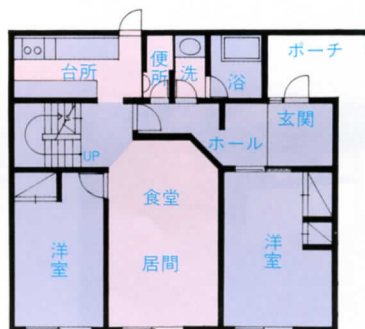
台所にも床暖房が施されていますが、冬は、「足元が暖かいので行動的になり、お料理にも熱がはいります」(奥さん)
また、お元氣なおばあちゃんは、ボランティア



外観。空洞レンガブロックの2階建てに木造屋根をかけています



床暖房の台所。冬は足元が暖かく、作業能率が一段とあがるということです 床・コルクタイル



家族構成／夫婦(主人52歳)＋子供3人＋母
構造／空洞レンガブロック造2階建て
設計／石丸賢一研究所(☎0942久留米44-1932)
施工／国場組福岡支店(☎092福岡472-4231)
床暖房施工／九州コロナ(☎092福岡501-2489)
床暖房／居間・食堂・台所、洗面所、便所
給湯／3か所
カメラ／清島靖彦

「先」IA活動で各方面で活躍されていますが、先
床暖房が安全で健康的な暖房であること
を「宣伝」されているそうです。

「広々としたLDKでの休日のくつろぎに大いに役立っています」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

「健康な住まいと暮らし」を実現する
床暖房派が急増中

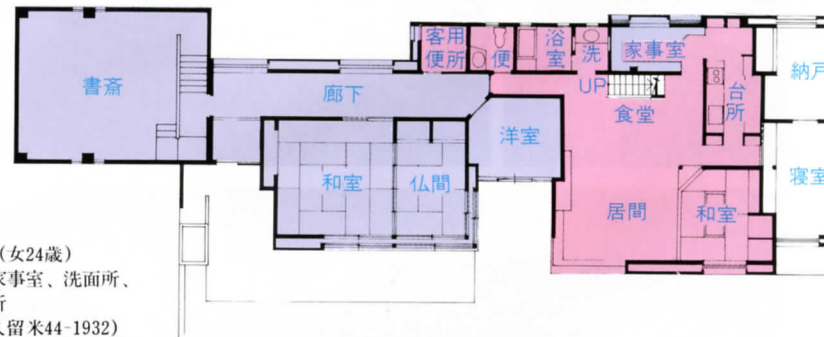
福岡／西原さんの住まい

- ① 床暖房で快適な居間・食堂 床・コルク
- ② 和室の掘りごたつも床暖房です 床・タタミ



西原さん

家族構成／主人(59歳)＋子供1人(女24歳)
床暖房／居間、食堂、台所、和室、家事室、洗面所、
浴室、便所、客用便所 給湯／6か所
設計／石丸賢一建築研究所 (☎0942久留米44-1932)
施工／松藤建設
床暖房施工／九州コロナ
竣工年月／59年10月
カメラ／橋本征親



- ③ 床暖房で作業もはかどる家事室 床・コルク

④ 外観



西原さんは新築を機会に床暖房を導入しました。この方式の暖房の心地よさを知ったのは、親戚の床暖房を体験したからでした。そして、暖房と同時に給湯が行えるのを気に入って、このシステムを選びました。

西原邸は父子ふたりの小家族。おふたりとも勤めをもっていて、床暖房の使用はいきおい夜か休日になります。使用時期は12月初旬翌年の3月ごろ。一日の使用時間は、短くて4時間、長くて8～9時間。北国の厳寒の地とはまた違う使い方です。

ことほど左様に暖房に対する関心もいまいっつ。床暖房は珍しいので近隣の人や知人が見学に来ます。「なかなか良さそうだが、油代が高つくじやろ」と見学者の感想。

ご当地でのさきがけとなった床暖房は、休日、広々としたLDKでのご主人のくつろぎに大いに役立っているそうです。

